

2022年12月18日

市町村 公平委員会 各位

会計年度任用職員の不安定雇用問題に対する緊急要望書

公務非正規女性全国ネットワーク(はむねっと)

代表 渡辺百合子

日頃より、住民サービスの重要な担い手である地方公務員の労働条件の改善のためにご尽力いただき、感謝申し上げます。

私たち、公務非正規女性全国ネットワーク(はむねっと)は、全国の地方自治体で働く非正規公務員の抱える課題を考え合い、社会に発信していこうと、当事者が中心となって活動をしているグループです。

2020年度からはじまった会計年度任用職員制度が3年目を迎えており、全国で、本来、無用の公募が実施されようとしているのを前に、その事態をなんとか止めたいと、今回、全国の人事委員会及び公平委員会に緊急要望書を送らせていただくものです。

私たちは、昨年と今年の二度に渡り、非正規公務員を対象とした調査を行い、全国の当事者と対話を重ねてきました。雇用の不安定さに強い不安を感じる、低い賃金、待遇が固定化しており、相談窓口もなく無力感や絶望を感じるという声が全国であがっています。

声の一部をご紹介します。「8年勤務しています。私は仕事を継続したいし経験もあるのに。なぜ公募して同じ仕事を受験させられるのでしょうか」「同じ場所で働くのに3年に1度公募する制度の意味が分からない」「次の公募が心配で、この制度について声を上げることができません」「改善を求め意見する非正規職員は組織ぐるみで退職に追いやられる。理不尽なことがあっても相談できる窓口がない」「人権だの、女性が輝ける職場だの言ってますがハリボテすぎます」「1年毎の雇用で、人事評価が管理職の一方的なもので、パワハラに耐えないといけないのはおかしい」「会計年度任用職員に人権はない。人だと思われていない。ただの消耗品だ」

なお、本要望書は、全国の人事委員会及び公平委員会に提出するとともに、全国の公務非正規労働従事者と住民に対して周知するため、はむねっとのホームページ上で公開し、マスコミ各社へプレスリリースしています。

要望事項

1. 貴委員会として、継続を希望する会計年度任用職員について一律の「公募」を辞め、希望者が安心して働くことができる制度とするよう提言を首長に行ってください。
2. 会計年度任用職員の報酬や諸手当、休暇制度、福利厚生等について、常勤職員との間にある処遇格差の是正など、同一労働同一賃金の原則にそった提言を首長に行ってください。
3. 相談窓口が分からないという声をご紹介しましたが、貴委員会として、会計年度任用職員に苦情相談窓口や、措置要求について周知してください。

連絡先:メール:hiseiki.koumu@gmail.com